

2015

JUL. 7 vol. 38

# 東京成徳広報



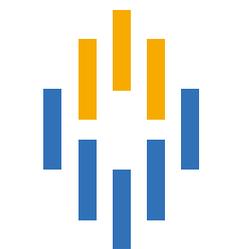
十条台キャンパス新4号館



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	<b>巻頭言「日本の未来と英語教育」</b> 理事長 木内 秀樹
P 4	<b>学園の動き</b> 北区と包括協定書の締結 記念事業寄付金のお祝い 学園人事 平成 27 年度事業計画 平成 26 年度事業の概要 平成 27 年度決算報告
P 8	<b>大学キャンパスの充実</b> 十条台キャンパス 落成式 八千代キャンパス サッカー・フィールド完成
P 10	<b>教育活動</b> 45 分× 7 時間授業の実施 東京成徳大学高等学校（高等部） 進学コースの再編 東京成徳大学深谷高等学校
P 11	<b>ひと『活躍する卒業生』</b> 短期大学同窓会 桐花会常任理事 八幡 晶子さん（中学・高等学校、短期大学幼児教育科卒業）
P 12	<b>進路状況</b>
P 14	<b>TOPICS</b> 大学院 大学 十条台キャンパス 大学 八千代キャンパス 短期大学 中高一貫部 高等部 深谷中学校 深谷高校 幼稚園 第二幼稚園
P 20	<b>お知らせ・お問い合わせ先</b>



TOKYO SEITOKU

学園シンボルマーク  
イエローは「活力」と「勇気」を表し、  
三本の柱は学生・生徒・園児、教職員、  
同窓生を象徴しています。  
ブルーは「理想」と「若さ」を表し、五  
本の柱は五つの教育目標を象徴していま  
す。  
そして、八本の柱が一体となり、東京成  
徳学園とその学園に集う人々のヒューマ  
ニティを作り上げる姿を表現しています。

**表紙 十条台キャンパス新 4 号館**

平成 25 年 3 月から始まった十条台キャンパス再整備計画が  
本年 6 月に完了し、7 月 4 日 3 号館、4 号館、体育館の落成  
式と祝賀会が行われました。



## 「日本の未来と英語教育」

東京成徳学園理事長 木内 秀樹

### 日本の未来

5年後の2020年に東京オリンピックが開催されます。その前年の2019年にはラグビーのワールドカップが日本で開催されることになりました。おそらく、そのデザイン性と高額な工事費で物議を醸している国立競技場のお披露目となるでしょう。社会人ラグビーに親しんだ私にとって「5ヶ国対抗」のチームやオールブラックス(NZ)、ワラビーズ(豪)の選手のプレーを間近で観戦できることに今から興奮気味です。もちろんチケットが取れたらという話ですが…。ラグビーにオリンピックとしばらくはワクワクする思いが続きそうです。

『2050年の世界 英エコノミスト誌は予測する』から考える  
最近読んだものに『2050年の世界 英エコノミスト誌は予測する』(著・英「エコノミスト」誌編集部)という単行本があります。3年前に出版され、既にお読みになった方もおいでだと思いますが、イギリスの「エコノミスト」編集部が「人間とその相互関係」、「経済とビジネス」、「環境、信仰、政府」や「知識と科学」などについて未来予測したものです。

それによると「世界経済において、今後最も重要な地位を占めてくるのはアジア経済で、2050年には世界の半分がアジア経済となる。しかし、その中で日本は相対的に急速にプレゼンスを失っていく。2010年には世界経済の5.8%を占めていた日本のGDPは2030年には3.4%になり2050年には1.9%になる。その結果、2010年にはアメリカの7割あった日本のGDPは2050年には相対的に58.3%まで低下する。

「格差」については、世界的な規模での各国間の貧富の差は今よりはるかに縮小していく。一方で先進国を中心に1990年代から起きたのが国内における格差拡大である。貧富を左右する要因としては、どこに住んでいるかより、どんな教育を受けるかの方がずっと大きいだろう」としています。

日本では、「一億総中流」といわれた「ある程度の所得層」の落ち込みが目立ちます。

元朝日新聞社主筆、ジャーナリストの船橋洋一氏がエコノミスト誌の予測から導いた結論は次の通りです。「これからの「国々の興亡」は中産階級を育て、維持し、大いに稼がせる中産階級大国と若年層の勤労意欲、社会・政治参加、高齢者を支えるコミットメントを上手に引き出すスマート・カントリが勝ち組になる。そして、グローバル化を活用しながら、それを可能にしなければならない。その1つは、シンペーター的企業家精神である。1950年代の統制資本主義(ケインズ理論)の時代にはマイナーな理論とみられたシンペーターの理論は、その後の現実の歴史によって最も影響力のある経済理論となった。インター

ネットの発明・普及によるグローバルゼーションはシンペーターの言う創造的破壊のスピードを高めている。想像もできない技術革新(3D印刷など)によって、これまでのビジネスのやり方が陳腐化し、それに固執していた企業は淘汰され、新しい企業が生まれる。

そして、もう1つはグローバル・リテラシーである。今、それは英語である。科学技術と多角的国際協調の面での英語は世界共通語であり続けるだろう。英語を使う人間だけがグローバル化のステージに上がることができる。」と。

もちろん、英語が苦手だとこれからの社会で生活できないということではありません。ローカルの仕事はいくらでもあるでしょうし、何が幸福かは主観的なものです。しかし、大企業や海外の舞台で活躍するためには、英語のコミュニケーション能力は益々必要とされ、それも、日常会話レベルではなく専門分野でコミュニケーションが取れる力が求められるでしょう。

私は中等教育、高等教育でもこのような展望をもとに英語教育に力を入れ、大学・短期大学においては近い将来に国際センター構想を実現したいと考えています。

## 東京都北区と連携協力に 関する包括協定書の締結

## 東京成徳学園創立90周年 記念事業寄付金のお願い

3月30日、学園は北区と連携・協  
力に関する包括協定を締結しました。

本学園は、お陰をもちまして本年  
で創立90年を迎えるに至りました。

これは区と大学の双方が持つ人  
的・知的・物的資源を地域課題の解  
決に生かし、住民福祉の向上や学術  
の発展などに繋げることを目的と  
したもので、今回の包括協定の締結  
を機に、さらなる事業の拡充等に  
いて連携を強化していくことが望  
まれます。

この間、「徳を成す人間の育成」  
を建学の精神に掲げ、学校や学部を  
設置して総合学園に成長し、卒業生  
も約12万人を輩出してあります。

これらも偏に皆様方のご支援の賜  
と心より感謝申し上げます。

この記念すべき節目を迎えるに  
あたり、本学園では記念事業を計画  
し、既に着手しているところです。

学園創立100周年に向け、十条台キャ  
ンパス整備、中等教育に係る校舎・  
設備の大規模改修などです。

これらの事業を完遂するためには、  
多額の資金が必要となります。そ  
の一部分について助成を仰ぎたく、  
学園創立90周年記念事業寄付金を  
お願い申し上げます。

つきましては、何卒趣旨にご賛同  
いただき、ご支援ご協力を賜ります  
ようお願い申し上げます。

問合せ 法人本部 法人事務局  
03(3911)2411



木内理事長（左）と花川区長（右）

## 学園人事

平成27年2月17日

平成27年5月の任期満了を以つ  
て、大澤健監事が退任されました。  
本年の役員・評議員は左表の通りと  
なっています。

〈退任〉

監事 大澤健

平成13年から21年3月まで東京  
成徳大学深谷高等学校長を務め、平  
成21年5月からは監事を務められ  
ていました。

## 理事・監事・評議員

役職	氏名	現職
理事長・評議員	木内 秀樹	短期大学長、中学・高等学校長、幼稚園長
理事・評議員	木内 秀俊	学園長
理事・評議員	海保 博之	大学長
理事・評議員	神田 正	深谷中学・高等学校長
理事・評議員	渡部 賢	大学事務局長、短期大学事務局長
理事・評議員	竹内 利行	群馬大学副学長
理事・評議員	前田 雅英	日本大学大学院教授
理事・評議員	青柳 晴久	赤城印刷株式会社代表取締役
監事	黒崎 康夫	株式会社黒崎インターナショナル代表取締役
監事	黒田 定男	前大学八千代事務局長
評議員	安見 克夫	短期大学幼児教育科長
評議員	松崎 博	大学事務局次長
評議員	永井 聖二	大学子ども学部長
評議員	石山 賢	法人事務局長
評議員	星野 薫	第二幼稚園長
評議員	藪崎 精克	学園後援会長
評議員	染谷 一子	中学・高等学校同窓会長
評議員	遠藤 洋子	短期大学同窓会長
評議員	岡田 康司	大学経営学部長
評議員	新井 邦二郎	大学院心理学研究科長
評議員	津島 泰雄	歯科医師

学園の動き

退職										採用																																		
教員										職員																																		
所属										所属																																		
氏名										氏名																																		
配属・役職										配属・役職																																		
深谷中学・高校	清 水 里 紗	専任講師	中学・高校	嶋 山 史 織	教諭	短期大学	明 石 奈 美 子	専任講師	大学	田 中 海	専任講師	短期大学	伊 藤 大 貴	専任講師	大学	増 澤 文 徳	教諭	短期大学	下 坂 須 美 子	教諭	大学	朝 倉 彬	教諭	短期大学	宮 下 恭 子	幼児教育科教授・主任	大学	板 本 勝 百	応用心理学部臨床心理学科助教	短期大学	山 口 春 子	応用心理学部福祉心理学科助教	大学	生 駒 芳 子	経営学部経営学科特任教授	短期大学	野 口 禎 一 郎	経営学部経営学科特任教授	大学	原 信 一	子ども学部子ども学科准教授	短期大学	浦 井 孝 夫	応用心理学部健康・スポーツ心理学科長
深谷中学・高校	松 島 晶 子	事務	幼稚園	真 野 彩 花	八千代総務課	短期大学	古 見 仁 郎	総務課	大学	名 古 屋 和 宏	総務課	短期大学	島 田 友 子	学生生活課	大学	加 茂 大 輔	学生支援課	短期大学	水 野 絵 理	教諭	大学	Howes, Susan Dana	専任講師	短期大学	戸 井 田 步 美	専任講師	大学	尾 身 祐	専任講師	短期大学	千 井 野 夏 子	専任講師	大学	深谷中学・高校	深谷 真 理 子	経営学部経営学科准教授								
中学・高校	馬 場 隆	専任講師	中学・高校	喜 多 見 克 俊	専任講師	短期大学	伊 藤 銳 朗	専任講師	大学	石 川 弥	専任講師	短期大学	池 田 三 鈴	幼児教育科准教授	大学	中 瀬 雄 三	応用心理学部健康・スポーツ心理学科助教	短期大学	泉 水 紀 彦	応用心理学部臨床心理学科助教	大学	朝 比 奈 朋 子	応用心理学部福祉心理学科准教授	短期大学	芳 野 ま い	経営学部経営学科特任准教授	大学	岡 千 春	子ども学部子ども学科助教	短期大学	長 野 麻 子	子ども学部子ども学科准教授	大学	力 石 正 弘	共通領域部教授									

新任・昇任・異動										退職																																																																									
職員										教員																																																																									
所属										所属																																																																									
氏名										氏名																																																																									
配属・役職										配属・役職																																																																									
中学・高校	宮 本 英 俊	事務	短期大学	内 田 善 浩	法人本部企画調査室係長	短期大学	國 田 廣 光	法人本部企画調査室長	短期大学	前 田 幸 代	総合事務室主任	短期大学	龍 野 祐 介	入試広報課主任	短期大学	大 久 保 智 枝	八千代総務課主任	短期大学	黒 田 望 花 子	副主任	短期大学	鈴 木 佳 津 世	主任	短期大学	梶 山 久 美 子	教頭	短期大学	大 武 深 雪	副園長	短期大学	矢 戸 美 美 子	教諭	短期大学	瀬 戸 千 紘	教諭	短期大学	小 原 啓 雅	教諭	短期大学	宮 越 美 沙	教諭	短期大学	湊 谷 聡 子	教諭	短期大学	藤 井 志 保	教諭	短期大学	長 原 潤 一	高等部教頭	短期大学	石 田 和 也	教諭	短期大学	本 多 麻 子	応用心理学部健康・スポーツ心理学科准教授	短期大学	石 田 祥 代	応用心理学部福祉心理学科助教	短期大学	大 和 田 栄	人文学部国際言語文化学科教授	短期大学	山 下 琢 巳	人文学部日本伝統文化学科教授	短期大学	村 山 純	経営学部経営学科助教	短期大学	富 山 尚 子	子ども学部子ども学科准教授	短期大学	長 谷 部 孝 司	企画・IR室長	短期大学	木 幡 日 出 男	応用心理学部健康・スポーツ心理学科長	短期大学	田 中 真 理 子	経営学部経営学科教授	短期大学	東 京 成 徳 学 園 十 条 台 キ ャ ン パ ス 図 書 館 長	前任
第二幼稚園	松 田 光 枝	事務	幼稚園	篠 島 紗 彩	助手	中学・高校	太 田 早 紀	助手	短期大学	星 野 ヒ サ エ	事務職員	短期大学	大 塚 理 恵	事務	短期大学	日 暮 勲	学生会生活課	短期大学	渡 辺 美 智 弘	学生支援課主任	短期大学	小 川 正 憲	総合事務室係長	短期大学	小 野 寺 梨 華	教諭	短期大学	鈴 木 や す な	教諭	短期大学	中 村 詩 子	教諭																																																			

平成27年度事業計画(抜粋)

部 門		事 業 内 容
高等教育部門	大 共 学 通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京成徳ビジョン100」計画に沿った学部・学科のあり方を基本検討する。</li> <li>・自己点検を実施し、日本高等教育評価機構による第三者評価を受審する。</li> <li>・学校教育法の一部改正による制度改革のもと、業務運営を円滑に進める。</li> <li>・教員免許更新講習、公開講座、学生ボランティア等による地域連携活動を推進する。</li> <li>・交換留学・語学研修等の海外交流を実施し、グローバルな人材を育成する。</li> </ul>
	人 学 文 部 応 用 心 部 大 学 院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収容定員未達の3学科(伝統・国際・福祉)の定員充足について学科のあり方を検討する。</li> <li>・文科省の留意事項を受けて観光文化学科の教育体制を維持・継続する。</li> <li>・健康・スポーツ心理学科の募集定員の確保に努める。</li> <li>・教育の質を高めるFD、SD、自己点検(PDCA)による計画遂行を実践する。</li> <li>・就業力向上のためのキャリアプログラムを充実し、「進路決定率」を高める。</li> <li>・施設設備の改修・整備を行い、老朽化対策及び施設拡充を図る。</li> <li>・臨床心理学科及び大学院の十条台キャンパス移転にかかる諸準備を行う。</li> </ul>
	子 学 小 学 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校教員養成課程設置、入学定員増に伴う教育課程等の実施</li> <li>・自己評価に基づく教育課程の改善、「子ども表現活動」に係わる科目群の設置</li> <li>・入試方法の検討、改善</li> <li>・「教育支援人材育成事業」の遂行</li> </ul>
	経 学 営 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の整備・充実、カリキュラム修正の検討</li> <li>・キャリア教育の充実と就職活動支援の強化</li> <li>・学修意欲向上のための「懸賞論文」「ビジネスアイデアコンテスト」の実施</li> <li>・授業アンケート票の改善とFDの強化による授業の質の向上</li> </ul>
	短 大 期 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期大学の特質ある教育の実現、グローバル教育に向けた学修体制の確立</li> <li>・教育研究開発の促進、入学前教育の質的精査</li> <li>・短期大学非常勤講師及び実習園との連絡会の開催、近隣地域・協力園との連携と交流促進</li> <li>・50周年式典と記念誌の刊行に向けた取り組み</li> </ul>
中 高 等 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学実績向上への取り組み。高等部45分授業実施(平成28年度)に向けての準備。</li> <li>・グローバル教育をめざす取組み①「自分を深める」の推進、②CTP授業の展開、③英語教育の研究と実践(ネイティブ教員の活用、ALTの採用)</li> <li>・運動施設の確保整備(南グラウンド借用など)、設備の更新(高等部食堂の改修)</li> <li>・設備の更新(空調機など)</li> <li>・防災への対応(屋内温水プール・非構造部材耐震工事、避難訓練・研修会の実施など)</li> </ul>	
深 谷 中 学 学 校 高 等 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建学の精神「成徳」の理念のもと、規範意識を醸成し規律ある生活態度の一層の確立を目指す。</li> <li>・各コースに応じた進路指導を進路指導部長とコース主任の綿密な連携で実践</li> <li>・外部講師等の活用による放課後や長期休業中の講習で実力養成を図り、大学合格実績に結びつける。</li> <li>・生徒による「授業評価」の満足度を上げ、ネットに公開できるように努める。</li> <li>・「教師の熱意」や「面倒見の良さ」を数値で示し、教育活動をアピールする。</li> <li>・互見授業や研究授業・先進校視察等の教職員研修を充実し、指導力の大幅アップを図る</li> <li>・同窓会・PTA、地域住民一体となった教育事業を展開する。</li> <li>・入学者選抜基準の抜本的見直しと、奨学生・特待生(含むスポーツ特待生)基準の戦略的見直しを実施する。</li> <li>・実施した具体的施策の評価・改善、計画したものの実行と評価・改善(PDCAサイクルの活用)</li> <li>・これまでの募集活動の成果と反省を踏まえた効果的な広報活動の展開</li> <li>・深谷中学校開校に伴う諸規程の継続した整備</li> </ul>	
幼 稚 園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者対象講演会等の実施</li> <li>・カリキュラムの大幅見直し検討、教員研修の実施(保育関連研修・マナー研修など)</li> <li>・防災への取組み実施(備品整備、避難訓練、研修など)</li> <li>・課外教室での施設活用(花まる学習会、ピアノ教室)</li> </ul>	
第 二 幼 稚 園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムの見直し・改善、英会話活動・給食回数・食育指導の改善</li> <li>・新入園児の確保、未就園児親子教室・入園説明会の充実</li> </ul>	
法 人 本 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京成徳ビジョン100」の策定、中期事業計画のフォロー</li> <li>・大学に係る認証評価機関による評価の支援、高等教育の再編・臨床心理学科移転の支援</li> <li>・各校周年行事の支援</li> <li>・収益構造の改善の徹底、各部門への浸透(諸経費の見直し、予算執行管理の強化、遊休資産の活用・処分等)</li> <li>・事務処理体制の見直し、効率化</li> <li>・広報の見直し(パブリシティ体制の構築等)</li> </ul>	

平成26年度事業の概要

学園は創立89年となる平成26年度を終了し、1,744名の卒業生を送り出しました。また、平成27年4月には合計1,638名の入学者・入園者を迎え、平成27年度の学生・生徒・園児数(平成27年5月1日現在)は、5,425名となりました。

学園では、北区と連携協力における包括協定を締結し地域連携の強化を図りました。平成27年度に学園創立90年を迎えるため創立90周年行事について計画を行いました。また、高校教員・学生ヒアリング調査や検討会などを実施し、「東京成徳ビジョン100」の作成を進めました。

高等教育部門において実施した主要な施策は、以下の通りです。

①十条台キャンパス整備計画において新校舎2棟と体育館1棟が竣工し、9月から使用を開始しました。

②キャリア科目の充実や応用心理学部では全学科の学生が履修できるように精神保健福祉士養成課程を整備し、子ども学部では子どもの表現活動に係わる科目の検討整備などの教育課程の充実を図りました。

③新たに韓国の嘉泉大学校と交流協定を締結し、平成27年度より留

学が可能となりました。協定校との交流は、5名の学生を派遣し、6名の交換留学生を受け入れました。

④短期大学では、短期大学基準協会による第三者評価を受審し、適格の認証が得られました。

中等教育部門において実施した主要な施策は、以下の通りです。

①高等学校では学習室の整備、コンピュータルームのパソコンの入れ替えや深谷高等学校では外壁・内装改修工事などの施設の整備を行いました。

②進学指導充実のために、外部講師を効率的に活用して、補習など学習支援を行いました。また、学力向上の一貫として中学校では英語のネイティブ専任教員を増員しました。

幼児教育部門において実施した主要な施策は、以下の通りです。

①教員の資質向上、指導力向上を図るため研修会の参加、実施を行いました。

なお、詳しくは東京成徳学園ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.tokyoseitoku.ac.jp/report/index.html>

学校法人東京成徳学園 平成26年度決算報告

資金収支計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	4,206,428
手数料収入	106,567
寄付金収入	46,135
補助金収入	1,488,345
資産運用収入	8,855
資産売却収入	1,009
事業収入	16,936
雑収入	272,700
借入金等収入	0
前受金収入	876,014
その他の収入	377,891
資金収入調整勘定	△ 1,147,491
前年度繰越支払資金	3,884,362
収入の部合計	10,137,751
支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	3,877,576
教育研究経費支出	1,437,098
管理経費支出	371,560
借入金等返済支出	800
施設関係支出	294,967
設備関係支出	298,203
資産運用支出	0
その他の支出	269,045
資金支出調整勘定	△ 296,290
次年度繰越支払資金	3,884,791
支出の部合計	10,137,750

消費収支計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで) (単位:千円)

消費収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金	4,206,428
手数料	106,567
寄付金	48,239
補助金	1,488,345
資産運用収入	8,355
資産売却差額	647
事業収入	16,936
雑収入	273,900
帰属収入合計	6,149,417
基本金組入額合計	△ 4,135
消費収入の部合計	6,145,282
消費支出の部	
科 目	金 額
人件費	3,890,363
教育研究経費	2,208,263
管理経費	449,423
資産処分差額	709,007
徴収不能額	8,813
消費支出の部合計	7,265,869
当年度消費支出超過額	1,120,586
前年度繰越消費支出超過額	9,418,556
翌年度繰越消費支出超過額	10,539,142

貸借対照表

(平成27年3月31日) (単位:千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	44,496,728
有形固定資産	41,372,739
その他の固定資産	3,123,989
流動資産	4,304,067
資産の部合計	48,800,795
負債の部	
科 目	金 額
固定負債	3,230,299
流動負債	1,410,315
負債の部合計	4,640,614
基本金の部	
科 目	金 額
基本金	54,699,324
消費収支差額の部	
科 目	金 額
翌年度繰越消費支出超過額	10,539,142
消費収支差額の部合計	△ 10,539,142
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	48,800,795

## 東京成徳大学・東京成徳短期大学 十条台キャンパス新校舎落成式

7月4日東京成徳大学・東京成徳短期大学十条台キャンパス新校舎落成式を実施しました。



十条台キャンパスの位置づけが大変大きくなりました。

こうした背景を踏まえ、平成23年に始まった十条台キャンパス整備計画では、昭和に建築された旧1号館から旧4号館を建替え、キャンパス機能の向上となによりも学生にとって居心地の良いキャンパスとすることを目指し、株式会社山下設計の皆さんとともに検討を行ってきました。

約2年にわたる設計期間を経て平成25年3月に工事着工となりました。

施工を担当した清水建設株式会社の皆さんの手により工事は順調に進み、瞬く間にキャンパスはその風景を変えていきました。しかし、順調に行くかと思える工事数々の困難がありました。大きなものは、地中に障害物が多数存在していたことです。北区はその昔「軍都」と称されるほどに戦前は軍の施設が多い場所でした。十条台キャンパスの地も同様に戦前は陸軍造兵廠の一部であり、戦後は米軍に接収され、返還後に本学に売却されたという経緯があります。地中を掘り進めると、当時のものと思われるコンクリート塊やレンガが出てきて杭打ち工事のさまたげとなるため、全て掘り出して処分を行いました。

昭和38年に短期大学の1号館が建築されて以来、短大の拡充成長とともに、講義室・研究室の増築や地震への備えとして耐震工事など様々な改修を行ってきました。さらに平成14年には1号館と図書館を新築し、平成16年の子ども学部及び平成21年の経営学部の開設に伴う学生数の増加に対応してきました。また、大学本部所在地を十条台キャンパスに移すなどの変更により、十

の平成26年6月に新3号館、新4号館、新体育館が完成しました。

この工事は、大学・短期大学の授業に支障を及ぼすことなく施工され、監理と施工の両社のレベルの高さに称賛の声を惜しみません。

その後、パソコン・机・イスなどの設備を整備し、9月19日にオープニングセレモニーを行ない、新校舎の使用を開始しました。

そして次に、旧校舎を解体し、テニス・フットサルコートや正門のリニューアル工事を実施して行きました。

短期大学の名前が残る銘板を掲げる旧正門を、卒業生が往時を懐かしむモニュメントとして化粧直しを実施しました。また、春には道路からもサクラをめぐる事ができるよう道路沿いにサクラを植えるなど、キャンパス内に花木を多く植え、四季を感じられるキャンパスになつていきます。

平成27年6月には残りの工事も無事に完了し、7月4日の落成式を迎えることができました。

工事中は学生・教職員の皆さんにご不便をお掛けして申し訳ありませんでした。また、本計画の実施に携わった皆様方に感謝するとともに、紙面をもちまして御礼申し上げます。

十条台キャンパス整備事業室

### 新3号館

- 4階建 延床 4981㎡
- 1階 楷の木ホール、保育実習室、カフェテリア、茶室、防災倉庫
- 2階 小児栄養実習室、講義室
- 3階 スタジオ、ピアノ室
- 4階 アトリエ、屋上庭園



#### 楷の木

ホールの名前の由来となっている楷の木は、「学問の木」と広く知られ、短期大学40周年の記念に鎌田正先生（短期大学元副学長）から寄贈いただきました。



**新4号館**  
 6階建 延床 4480㎡  
 1階 学生支援コーナー、カウンセ  
 リングルーム  
 2階 大講義室  
 3階 講義室、ゼミ室  
 4階 PC 講義室  
 5階6階 研究室



**外構**  
 テニス・フットサルコート、芝生広場



**新体育館**  
 2階建 延床 1453㎡  
 1階 アリーナ、レクチャールーム  
 2階 ダンススタジオ

**八千代キャンパス  
 東京成徳大学サッカー・フィールド完成**  
 バスケットボールの公式試合ができる冷暖房完備の体育館やゴルフ練習場とテニスコートなど、スポーツ施設が充実している八千代キャンパスに、この夏全面人工芝の「東京成徳大学サッカー・フィールド（愛称ブルーウィング）」が完成しました。  
 健康・スポーツ心理学科の設置によりキャンパスのスポーツ熱が高まっていることやキャンパス開設以来サーカール場として使用されて



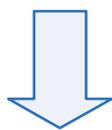
きた天然芝のグラウンドは不具合が多かったため、このたび、JFA認定対応人工芝を使用した本格的サッカー場に生まれかわりました。  
 ・ピッチ内はオフサイドが判別しやすいように濃淡をつけた緑色の人工芝  
 ・ピッチの外周には国内初の青色人工芝を採用  
 ・シュート練習用に強固な壁打ち板の設置  
 など公式試合に適應したフィールドとなっております。  
 7月26日に学園内の高校（東京校）と深谷高校の男子サッカー部を招待し、大学サッカー部との交流戦をキックオフセレモニーとして行います。

**45分×7時間授業**

**東京成徳大学高等学校(高等部)**

平成28年度からこれまでの50分間の1日6時間の授業から、45分間の7時間授業を導入します。

総授業  
時間数は**15分**増えるだけ



生徒の負担は少なく、  
**大きな効果**が狙えます！

**高い進学ニーズに対応するための基礎学力の強化**

45分という凝縮された授業時間により、集中力を切らさず授業に臨むことができるため、授業内容に対する深い理解と確かな知識の定着、基礎学力の強化に繋がります。特に英語については、これまで以上に授業時間を確保し、「読む」「聞く」

だけではなく、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能が求められる時代のニーズに対応。また、数学、国語についても時間を増やします。

**これからの時代に不可欠な思考力・判断力・表現力の養成**

自分を深める学習をはじめ、本校でのさまざまな学習・活動を通して見つけた自分の行き方を歩んでいくためにも、これからの社会では、思考力・判断力・表現力が必要となっていくと見えます。7時間授業とすることで、そうした力を育むための取り組みも可能となります。

**3コースの生徒みんなが同じ時間に部活動をスタートできる環境作り**

新時間割は「特別進学コース」「進学選抜コース」「進学コース」の全コース共通。つまり全コース同じ時間に授業が終了するため、部員全員が揃った形で部活動をスタートすることができ、これまではコースごとの自由選択科目があったため、参加時間がバラバラにならざるを得ず、活動を一齐にスタートできない状況がありました。しかし、28年度からはそうした問題が解消され、より積極的に部活動や課外活動に打ち込むことができるようになります。

**夢を叶える3つのコース！  
東京成徳大学深谷高等学校**

募集定員 280名	特進Sコース<40名>		進学選抜コース<80名>	進学コース<160名>
	一般受験で大学進学を目指すコース		一般受験・指定校推薦・公募推薦・AO入試で大学進学を目指すコース	指定校推薦・公募推薦・AO入試で大学進学を目指すコース
2年次から	国公立(文系・理系)	私大(文系・理系)	文系・理系	文系・文理系・保育系
授業形態	1~3年 月・水・金...7時間授業 土...2時間授業	1・2年 月・水・金...7時間授業 土...2時間授業	1・2年 月・水・金...7時間授業 (7限目...部活選択可能)	1~3年 月~金...6時間授業

平成28年度から3つのコースに編成します。

**特進Sコース**は、一般受験で国公立大・難関私大を目指すコースです。英語・数学・国語では習熟度別で得意科目を解消し、得意科目はさらに伸ばします。また、生徒それぞれの学習データをしっかりと分析し、きめ細やかな指導により、夢の実現をサポートします。

**進学選抜コース**は、一般入試・指定校推薦・公募制推薦・AO入試など、あらゆる入試形態で、有名私大を目指すコースです。1・2年生では、7限目に選択講習を用意し、受験に必要な教科を徹底的に学習します。また、その時間に部活動を選択し、部活動と両立しながら、放課後学習やサテライト講習などを活用して、進路の実現を目指します。

**進学コース**は、勉強はもちろん、部活動にも積極的に参加しながら、大学・短大への進学を目指します。始業前の朝学習の充実を図り、家庭学習の習慣化をサポートする中で、漢字検定や英語検定などの資格取得に力を入れています。推薦入試に必要な小論文や面接の指導も段階を追って計画的に行い、進路実現に向けた力をつけていきます。

# ひと

## 『活躍する卒業生』

中学・高等学校・短期大学（昭和45年卒）

短期大学同窓会

「桐花会」常任理事

八幡 晶子さん



新装なった十条台キャンパス！  
素晴らしいですよ！！

短期大学は本年創立50周年を迎え、桐花会（同窓会）も9月に記念同窓会を開催し盛大に祝福したいと、遠藤洋子会長以下常任理事以上の方々が新校舎に移った同窓会室に集い準備に余念がありません。

その中で短期大学の卒業生で中学・高校の卒業生でもある八幡晶子さんは、会員への案内状・来賓の方々への招待状・出席者名簿などをはじめ関係文書の作成を主に担当され、さらに第二部の懇親会で参会の皆様楽しんで頂けるように催しの準備を担当されています。

### Q・東京成徳の思い出は

私は荒川区の小学校に通っていたのですが、3歳年上の姉が東京成徳に進学していたので、母の勧めもあり受験して中学校に入学しました。そして、これも母親の勧めでブラスバンド部へ入部しました。もともと音楽は好きだったこともありですが、母親の言うことを聞く素直な子だったのでしょうね。（笑）

顧問の西村正晃先生のご指導で、文化祭をはじめ各コンクールに出場し、上野文化会館小ホールでの演奏会等とても貴重な経験ができました。

短期大学への進学は先生の勧めがあり、私自身音楽が好きだったこともあったので幼児教育科に進学しました。

一番に思いだすのは天野蝶先生のリトミックの授業です。リトミックとはスイスの音楽教育家で作曲家でもあったエミール・ジャック・ダルクローズによって考えだされた「体の動きを音楽に結びつけてリズム感覚を育てる」音楽教育法です。「天野式リトミック」を創始された高名な先生で、非常に厳しい先生でした。先生の太鼓の一打ちで神経が集中し過ぎていつもは普通に

できることも、体が硬直して動けなくなるのです。中には涙目の学生もいました。全神経を集中していた授業でした。

また、当時は地方からの学生も多く入学されていて、長崎県や香川県のクラスメイトが帰省する時一緒に、その地方の名所を見学したり、実家までお邪魔して歓待していただいた楽しい思い出もあります。

### Q・卒業後は

ピアノは短大に入学してから始めたのですが、やがてエレクtoonに興味を持ち卒業後もレッスンに通いヤマハの講師の資格を取得しました。そして、自宅で近所のお子さんに教えるはじめたのですが、幼児教育科で学んだことが音楽の指導以外でもかなり役に立ちました。

結婚して、2人の子どもに恵まれました。平成6年、私が卒園した保育園が高齢者福祉施設（特別養護老人ホーム）となり、施設長に就任した前園長から事務の依頼があり、常勤として週5日勤務することになったのです。

必然的にパソコンに習熟しないと仕事ができませぬので独学ですが、職場の若いスタッフに教えてい

ただきながら、また、最近では息子に教えてもらいながら操作を覚えしました。

荒川区には「いきいきボランティアポイント制度」という高齢者が参加するボランティア制度あり、講習会を受講した100人以上のボランティアが登録されています。私は施設とボランティアとの調整を担当し、職員や入所利用者の皆さんが心地よく生活できるように勤めています。また、区が主催する1年間の「手話講習会」に参加し毎週手話の勉強をしています。

### Q・後輩へのメッセージ

進学・進級・仕事・日々の生活を流れのままに過ごしてきました。その度に、良い先輩・良い指導者に恵まれて今日まで来られました。

「知らないこと」は恥ずかしがらずにどんどん教えていただく。

「聞くは一時の恥、聞かぬは末代までの恥」という格言があります。後輩の皆さんはこの学園には、すぐ近くに応援してくれる多くの方たちがいることに感謝しながら活躍していただきたいと思います。

# 進路 進学・就職

## 東京成徳大学高校

国公立大学 (準大学含む)	58 名
東京大学 大阪大学 東京工業大学 筑波大学 お茶の水女子大学 東京学芸大学 電気通信大学 東京海洋大学 千葉大学 横浜国立大学 埼玉大学 群馬大学 新潟大学 首都大学東京 防衛大学校 など	
難関私立大学	296 名
早稲田大学 上智大学 東京理科大学 明治大学 青山学院大学 法政大学 中央大学 立教大学 など	
その他私立大学	1,199 名
東京成徳大学	10 名
東京成徳短期大学	10 名
その他短期大学	22 名

平成 26 年度の卒業生 590 名のうち、進学者は 543 名でした。その内訳は、大学 478 名、短大 22 名、専門学校 43 名です。進学率は 92% (除く浪人) で、昨年度とほぼ同値であり、また大学進学率も全体の 81% と、昨年度同様 8 割超を達成し続けています。浪人の数も 45 名 (7.6%) と昨年並でした。

### (大学入試全般)

今年度は新課程入試 (数学・理科) ということもあって、センター試験の平均点は一部の科目を除き、全体的にやや易化傾向となり、その結果、国公立への出願状況も大方事前の予想通りとなりました。また、文

理別の志願状況では、昨年までの理高文低傾向から文理均衡傾向へと変化が見られました。

### 〈国公立大学について〉

センター試験の平均点は昨年並みでしたが、数ⅡB と新課程の化学、生物 (基礎の付していない科目) に関しては低得点が見られました。その結果、理系人気継続の中で、現役の理系には個別試験での高得点が求められる入試となりました。そのような中で、本校の生徒たちは東京大学理科 2 類をはじめとして、東工大、電通大など、58 人中 37 人が理系学部への合格を手に入れました。

### 〈私立大学について〉

センター試験の数ⅡB ショックからか、国公立理系の併願先となつた理系私立大学に受験者の増加が見られました。また、人気復活傾向の文系の中でも、法学系、国際系、人文 (英語) 系は特に人気があり、難化傾向が顕著でした。そのような中、本校の生徒は大活躍をしました。早慶上理は 40 名 (前年の 5 名増)、GMARCH は 256 名 (前年の 63 名増、一昨年の約 2 倍)、文系難関 (成蹊・成城 等) と理系難関 (北里・芝浦工業 等) 合計は 206 名 (前

年の 21 名増)、日東駒専の 230 名、大東亜帝国の 179 名はともに前年の約 30 名増とあらゆる大学群で大健闘をしました。後に続く下級生には、このような大活躍をした先輩たちを手本として、より高い目標を掲げて頑張ってもらいたいと思います。

## 東京成徳大学深谷高校

国公立大学	8 名
横浜国立大学 群馬大学 茨城大学 北海道教育大学	
私立大学	234 名
早稲田大学 青山学院大学 法政大学 成蹊大学 武蔵大学 明治学院大学 國學院大学 日本大学 東洋大学 駒沢大学 専修大学 獨協大学 芝浦工業大学 東京都立大学 など	
東京成徳大学	3 名
東京成徳短期大学	2 名

平成 26 年度の深谷高校卒業生数 281 名の進路状況ですが、大学 155 名、短大 32 名、専門学校 62 名、就職 19 名、浪人その他は 13 名でした。

平成 25 年度以降、就職希望者が増加傾向にあります。これは近隣の高校も同様で、高校生を採用している企業が深谷市・熊谷市で増えていることが要因として考えられます。

進学コースでは推薦入試や A O

入試を利用する生徒が多く、125 人中 54 人、約 43% の生徒が指定校推薦で進学しました。

国公立大学を目指す特進・特進選抜コースでは 2 年次に受験した「センター試験同日模試」から大きく得点を伸ばした生徒がみられました。これによって在籍数が少ないことから国公立大学合格数は心配されていましたが、結果的に前年度以上となる 7 名の現役合格を出すことができました。

## 大学・短期大学

平成 26 年度卒業生の就職決定率は人文学部日本伝統文化学科、応用心理学部健康・スポーツ心理学科が 100% を達成したのをはじめ子ども学部が 97%、応用心理学部福祉心理学科が 96% と好調で、全学科とも前年を上回りました。

経済情勢の好転を受けて雇用環境が改善していることも要因ですが、企業の厳選採用の姿勢は変わらず、学生一人ひとりの就活は大変な努力の末に内定を勝ち取っているのがほとんどです。そのような中で粘り強く就活を続け内定獲得に至った大きな要因に教員と職員が

一体となった本学の丁寧な就職支援があります。入学時から「社会の変化に対応できる学生を育成する」「就業力のある学生を育成する」ことを目標に教職員一丸となって学生の教育及び支援を行ってきました。これからもキャリア教育の充実、就活支援の徹底を図り学生の希望に沿った進路、一段とハードルの高い企業への就職の実現に向けて就職支援センターを中心に全学をあげて積極的に支援をしていく方針です。

平成26年度の卒業生報告

子ども学部

例年通り70%程度の学生が幼稚園・保育園・小学校などの就職関係に進みました。(就職関係の進路希望者内定率は100%です)一般企業へは昨年同様20%程度の学生が就職しました。就職先は、(株)ナルミヤ・インターナショナルなどの子ども関連企業、他、(株)木下工務店・朝日信用金庫などの子ども関連以外の企業に就職した学生もいました。

経営学部

就職決定率は92%と昨年(87%)を上回ることができました。学生の中には100社以上の採用試験を受け、選考で落ち続けても「絶対に就職す

る」という高いマインドを持ち、諦めないで活動し続けた結果、卒業式間際に就職を決めた学生もいます。就職先はサービス業や卸・小売業が60%を超えています。就職先には三越伊勢丹・丸三証券・三菱樹脂などの人気企業も含まれています。

人文学部

上場企業から地元の中堅中小企業まで幅広い企業に就職を決めています。国際言語文化学科では中部国際空港旅客サービス(株)、ワールドエンタープライズ(株)など空港関係の会社に就職する学生が比較的多いようです。また観光文化学科は(株)パレスホテルや(株)三井不動産ホテルマネジメントなどホテル関係への就職が目立っています。

応用心理学部

りそなグループ、日本航空(株)、東光電気工事(株)などの大手企業への就職を決めることができました。福祉心理学科は板橋中央医科グループなど医療系福祉系への就職者が例年通り多く、臨床心理学科も幅広く就職を決めています(株)タカサ、(株)サンリツ、(株)江東微生物研究所など医療系の先が目立っています。健康・スポーツ心理学科は、スポーツ系というよりは卸売、建設関係への就職が多くなっています。

短期大学

98%以上の学生が幼稚園教員2種免許状と保育士資格を取得したため、就職関係(幼稚園・保育所・認定こども園・幼保複合施設)の進路希望者は100%、就職することが出来ました。求人園数も3465園

と過去最高となり、これは50年の歴史に裏付けられた実績といえるのではないのでしょうか。  
〔就職支援センター〕

主な就職先と決定率

学部	学科	進路決定率 <sup>※1</sup>	就職決定率 <sup>※2</sup>	主な就職先 (過去3ヶ年)	
大学	子ども学部 子ども学科	90.1%	96.8%	【病院】日本赤十字社 【旅行】JTB 首都圏【不動産】アパマンショップ 【小売】ジェイアイエヌ/ナルミヤ・インターナショナル 【公務】茨城県坂東市	
	経営学部 経営学科	91.0%	92.0%	【製造】YKK AP/三菱樹脂 【銀行】りそなグループ 【保険】第一生命保険 【小売】三越伊勢丹/ユナイテッドアローズ/クロスカンパニー/あさひ 【サービス】スタジオアリス/日本総研情報サービス 【公的企業・公務】日本郵便/警視庁/茨城県境町役場	
	人文学部	日本伝統文化学科	88.5%	100.0%	【運輸】東日本旅客鉄道 【銀行】君津信用組合 【着物・和装】西川/いつ和/ コノエ/木村実業 【サービス】エービン/メガネトップ 【IT (ものづくり)】ソフエル/トラストシステム
		国際言語文化学科	76.2%	94.1%	【空港】ANA エアポートサービス/中部国際空港旅客サービス 【運輸】スカイマーク 【ホテル】ミリアルリゾートホテルズ/アパホテル/ 大清ホテルズ/ホテル井 【旅行】クラブメッド/ツアーリストエキスパート 【アパレル】ナルミヤ・インターナショナル
		観光文化学科	100.0%	100.0%	【ホテル】パレスホテル/三井不動産ホテルマネジメント/アパホテル/山形屋商事 【旅行】近畿日本ツーリスト/ツーリストエキスパート 【商社】橋本産業/大竹建窓 【建設】東光電気工事 【不動産】エイブル 【教育】東京成徳学園 【金融】中原証券
	応用心理学部	福祉心理学科	86.2%	96.0%	【運輸】日本航空 【福祉支援】セントケア・ホールディング 【学校】富里特別支援学校<公務> 【福祉】柏市児童相談所<公務>/ (福) 鳳雄会/(福) 武蔵野会/(福) いちばん星 【病院】(医) 仁愛会/(医) 心和我 【進学】上越教育大学大学院
		臨床心理学科	80.0%	88.9%	【銀行】りそなグループ 【建設】鹿島建設/東光電気工事 【病院・医療】(医) 龍岡会/東邦鎌谷病院/スキホールディングス 【福祉】柏市児童相談所<公務>/ (福) 八幡学園/(福) 愛光 【サービス】コープネット事業連合 【公務】千葉県警 【教育】(学) 東京成徳学園
		健康・スポーツ心理学科	90.2%	100.0%	【銀行】りそなグループ 【空港】成田国際空港 【スポーツ】千葉県体育協会/ (財) 吉田記念テニス研修センター/セントラルスポーツ/ 住友不動産エスフォルタ 【健康】サンリツ 【アパレル】オンワード樫山 【公務】千葉市消防局/陸上自衛隊
	短大	幼児教育科	98.4%	100.0%	幼稚園、保育園、認定子ども園・複合施設、施設等

※1 進路決定率 = (就職決定者 + 進学決定者) ÷ 卒業者数  
※2 就職決定率 = 就職決定者 ÷ 就職希望者

大学院

修士論文中間発表

大学院では先日、修士論文の中間発表が行われました。この時期に行われる中間発表会では、修士課程の大学院生が大筋や方向性は定まったが、詳細部分についてはまだまだ詰められていない研究計画を発表し、それに対する様々な指摘を教員や仲間から受けて内容を修正・発展させながら完成に一步步近づけていくことが行われます。

今年も様々な内容の研究内容・計画が選ばれており、とても幅広い、そして興味深い発表がなされました。実習などもある中で睡眠時間を削りながら頑張った学生さんともいえると思います。身体だけは壊さず、引き続き良いものを作るための努力を続けて欲しいと思います。



「修論のポイントは」  
新井研究科長の指導を傾聴

大学 十条台キャンパス

子ども学部

子ども学とは（リレー掲載⑩）  
子どもを追究することの魅力

助教増田有紀

子どもの頃、教師をしている大人に魅力を感じ教育の道に進んだ。そして、教師という職業に就いてからは逆に、子どもという未知なる存在を追究していくことに魅力を感じている。「大人」と「子ども」は、辞書的には対義語として扱われる一方で、その境界線や関係性は実に多様であり、曖昧である。

数年前、小学校教員として1年生を担当していた1学期。なかなか小学校生活に馴染めない男児がいた。大人であればいわゆる「オタク」と呼ばれそうなほど電車が大好きだった。常に電車の絵を描いたり、発車音やアナウンスを口ずさんだり。「外へ移動しよう」と促すと癩癩を起こし飛び出してしまう。男児が発するサインをキャッチし理解することに悩み、改善策を模索する日々が続いた。

そんなある日、クラスでやるお店屋さんごっこについて話し合っていたときのこと。色々なお店が提案される中、その男児がセロハンテープ

の芯で作った手錠を披露しながら発言した。「僕は警察をやりたい！町に悪い人が来ないように！」。町という思いがけない彼の発想にクラスの空気が一変した。「すごい！」

「僕もやりたい！」。少しずつクラスに馴染んでいった。子どもの未知なる力を見た瞬間だった。教師という立場上「してあげなければ」的な見方から「子どもと大人はパートナー」へと視野が広がった。「子どもって何？」という子ども学を追究する上で永遠の質問。これに対する自身の回答は日々更新されている気がする。

経営学部

ビジネスアイデアコンテスト

経営学部では毎年1年生後期の基礎演習の授業でビジネスアイデアコンテストを実施しています。経営学部は社会で真に役立つ人物の養成を標榜しており、このコンテストはビジネス社会における諸問題を発見・解決できる能力養成の一環として実施するものです。

コンテストは1年生全員参加で学生は1人〜3人までのチームを編成し、チーム単位でビジネスアイデアを考えプレゼンテーションを行います。コンテストは予選会と決勝

大会の2段階、学生はまず予選会で100人以上の前でプレゼンテーションを行い教員はアイデアの新規性や市場性、プレゼンテーションの巧拙等で審査します。予選通過発表は約1ヶ月後の決勝大会当日に行い、予選通過チームは再度プレゼンテーションを行い教員が再度審査します。最終的に1位から3位までに賞状と賞金が授与されますが、予選通過に自信あるチームは内容をさらに詰めてくるため予選と最終結果が同じになるとは限りません。

コンテストも今年の1年生で7回目、過去にはすぐに事業化できそうなアイデアもあり、学生の社会を見る着眼点やプレゼンスキルは確実にアップします。今年もまたあつと驚くようなアイデアに出会えることを期待しています。

大学 八千代キャンパス

キャンパス施設・設備の充実

7月15日、国内初、ブルーの人工芝で彩られた本格的なサッカー場が八千代キャンパスに完成します。完成後は本学サッカー部の本拠地として使用するほか、関連校を含めた高校生のサッカーレベル向上のための施設としても活用する予定

です。このフィールドから、未来の日本代表が出るかもしれません。7月26日には、東京成徳大学高等学校サッカー部と東京成徳大学深谷高等学校サッカー部を招いて、本学サッカー部との交流戦を行います。当日はオープンキャンパスも行われ、訪れる高校生の皆さんにもぜひ見ていただこうと思います。

八千代キャンパスでは、随時キャンパスの施設・設備の充実を行っており、教育環境の向上では体育館の冷暖房設置、講義室の机・イスのリニューアルを行いました。また、学生のみなさんがキャンパスでの生活を快適に過ごしてもらうためにも、回廊や手摺の補修、コンピエンスストアの開店、ラウンジの整備などを行いました。そして、それらのハードの充実に加え、「学内活性化プロジェクト」や「学生のための図書館づくり」を通じ、学生のみなさんとともにキャンパスを作り上げていきます。

**短期大学**

幼児教育科では、学生が学修した知識・技能を成果発表し、高校生をはじめとする学外の方々に本学の取り組みを知っていただくことを

目的に、30年近く前から、音楽研究発表会・保育研究発表会・授業の成果発表会を積極的に実施しています。これまでは、区の施設を利用したり、大教室を工夫して舞台に仕立てて使用したりしてきましたが、昨年十条台キャンパスに櫛の木ホールが落成したことから、9月の保育研究発表会に続き、2月の音楽研究発表会を櫛の木ホールで実施しました。学生と教員に加え、高校生や観覧希望の保護者など400名程が利用するにはちょうど手ごろな広さで、音響効果もよく、「演奏しやすかった」「音が身近に感じられた」「出ている友達の表情もよく見えて、親近感ももてた」など、演奏する側も観客側も大変好評を博した発表会になりました。

また、3月12日の卒業式も櫛の木ホールで挙行し、東京成徳大学高等学校吹奏楽部の皆さんに校歌等の生演奏をしていただき、厳かな中にも温かな雰囲気が出されて、卒業生・保護者ともに感動的で満足感が高い式になりました。

幼児教育科では、今年度も保育研究発表会・音楽研究発表会・幼児体の授業成果発表会等を櫛の木ホールで実施する計画で準備を進めています。さらに、今年度は短期大

学創立50周年記念の年ですので、11月21日には午前・50周年記念式典、午後には50周年記念・第29回保育研修会を櫛の木ホールを中心に実施する計画です。今後も、学内のホールを活用して、本学の学びの成果をますます充実させ、広く発信していきたいと考えています。



**中高一貫部**

**ベトナム実験中学校来校**

5月29日昨年続き、ベトナムより Thue Nghiem School (実験中学校) が訪日プログラムの1つとして、本校での学校体験をおこないました。専用バスで到着後、中学生生徒会主催による歓迎セレモニーがおこなわれ、両校代表生徒による挨拶に続き、実験中学校生徒によってベトナムを紹介するプレゼンテーションやベトナムについてのクイズコーナー、女子生徒によるベトナムの歌の披露、男子生徒によるケン玉の披露がありました。



その後は視聴覚室に移動し、1年生との合同特別授業を実施、両校混成グループを作り、自己紹介レッスンを経て、世界地図を共同で作りに上げるプログラムに取り組みました。共通のコミュニケーション言語は英語しかありません。1年生ですから習いたての語彙を駆使して、身振り手振りも交えて何とか意味を伝えようと必死でした。知識を学ぶことも大切ですが、このように実際に使ってみる体験で得たものや、もつと使えるようになりたいという欲求は今後の語学学習に大きく影響してくると思います。

生徒会スタッフとの昼食会をはさんで、午後は茶道・書道と日本文化体験をおこないました。茶道部の生徒が浴衣を着てお点前を披露し、お茶のいただき方を説明しながら一人一人に味わってもらいました。実験中の生徒たちは、慣れない正座に四苦八苦しながらも興味深げに器の模様や、抹茶の味を楽しんでいました。書道では、簡単な漢字で筆の運び方を学んでから、一人一人好きな字を練習し、最後は色紙に仕上げで記念に持ち帰ってもらいました。昨年よりは長い時間の滞在でしたが、それでももつと交流したい、もつと長い時間一緒にいたいとい

う声が両校の生徒から上がってきたおり、新しい出会いを素直に喜び、すぐに受け入れていく若い感性と柔軟さを実感しました。今後も有意義な交流が続くことを期待しています。



高等部

体育祭

例年通り5月下旬に行われた体育祭は新年度となり初めての学校行事です。新たなクラスメイトとともに種目に出場する選手決めを話し合ったり、朝や昼の時間を使って大縄練習をしたり、体育祭直前には放課後に残ってクラスオラジナル

Tシャツの作成も行いました。一人一人が自分にできることを探し、協力し合って日増しにクラスも団結していきました。



たちを盛り上げようと努めました。当日は天候が不安でしたが何とか全種目を行うことができました。一人一人が出場する種目に全力を注ぎ、ともに競い合い、ともに楽しみ、ともに健闘を称えました。閉会式では全生徒が肩を組み校歌を歌う姿が印象的で、最後に涙を流しながら話した団長の言葉は体育祭に会場した多くの方々の心に響きました。来年の体育祭も今回の経験を活かして、多くの方々が楽しみ、感動する体育祭を目指していきたいと思っています。

今年度は種目のルール改善、騎馬戦や棒倒しなどの安全面の見直しを行いました。玉入れでは団長にカゴを背負って逃げてもらい、そのカゴに向かって玉を投げ入れるように工夫をしました。騎馬戦や棒倒しでは出場する全選手にヘッドギアを着用してもらい、体育科の教員から攻め方や守り方の指導も入念に行ってもらいました。また教員も学年別教員対抗リレーを企画し、生徒



結果

青団565点 赤団517点 黄団442点  
ダンス優勝 赤団

深谷中学校

長距離ハイキング

5月9日、寄居のハイキングコースにおいて、長距離ハイキングが行われました。



スタート前は余裕の笑顔

開校した年から、中学校及び高等学校の一貫コースの共通行事の一つとしてスタートした長距離ハイキング。3年目の今年は、3年生が30kmにチャレンジしました。3年生が先にスタートし、20kmチャレンジの1・2年生に途中で追いつこうという計画です。3年生にとつて後の20kmは1・2年生の時に歩いているので、コースの概要はだいたい把握しています。しかし、前の10kmは初チャレンジ。当然生徒の不安はこの10kmにあります。生徒には「前半を乗り切れば大丈夫だから。」と励ましなが

深谷高校

野球部



らのスタートでした。前半の佳境である鐘撞堂山に登る階段はかなりきつかったようで、口数が極端に少なくなりました。

名水日本水(やまとみず)の給水場所で1・2年生に追いつくかと予想しましたが、なかなか追いつくことはできません。結局追いついたのは昼食場所の中間平(ちゅうげんだいら)緑地公園でした。今年ほどの生徒もペース配分がうまくいったです。3学年とも1人の落伍者もなく、全員が最後まで歩き通しました。昼食後、鬼ごっこに興じたり、ゴール後もスクールバス目掛けて走る生徒の姿を目し、つくづく「生徒は元気だな。」と実感した長距離ハイキングでした。



お弁当の味もひとしお!



サヨナラ勝ちを収めた県大会2回戦

春季埼玉県高等学校野球大会  
【県北地区予選】

- 1回戦 本校4対3小川
- 代表決定戦 本校7対1北本

- 【県大会】
- 2回戦 本校5×対4川越工業
- 3回戦 本校2対0正智深谷
- 準々決勝 本校2対0春日部東
- 準決勝 本校1対10浦和学院
- 3位決定戦 本校3対6聖望学園
- 主将 高橋滉斗さん

春季大会では「熱く明るく魂を込めて」を合い言葉に、チーム力でベスト4にまで勝ち進みました。夏の大会では、あと一步の大きな壁を打ち破れるように、一試合一試合、チャレンジ精神で戦い、甲子園出場を目指したいと思えます。

サッカー部

関東予選埼玉大会

- 1回戦 本校1対0浦和南
- 2回戦 本校1対0慶応志木
- 準々決勝 本校1対0国際学院
- 準決勝 本校0対1西武台
- キャプテン 吉田和樹さん

今回の関東予選埼玉大会で、成徳サッカー部史上初の第3位という結果を出すことができました。もちろん嬉しくもありますが、あくまでも私たちの目標は、埼玉県でチャンピオンを取ることにあります。決してこの結果に満足せず、インターハイや選手権で目標を達成できるように、チーム一丸となり、全身全霊で頑張っていきます。



準決勝強豪西武台と互角に対戦

幼稚園

異文化コミュニケーション(年長)

現在幼稚園には、11か国の保護者の方がいらっしやいます。今年度保護者のご協力を頂き、年長組の子どもたちは、月1回異文化に触れる目的でこの1年間の特別カリキュラムを組んでいます。5月はオーストラリア出身のお母様古賀トニーリー先生、6月はドイツ出身のお父様シュパンガー・フィリップ先生に特別講師としてお話し会を体験しました。また、7月にはイギリス出身のお父様でウォーカー・グレイグ先生の予定です。



園児たちは、事前に国旗の由来を調べたり、世界地図で場所を確認したりと準備をしました。

当日、特別講師の先生は、ほとんど日本語は使わず、ジェスチャーを交えてながら簡単な挨拶をしたり、それぞれの国の言葉でお話してくださったり、歌や手遊びを一緒に楽しみ、園児たちは大喜びの様子でした。また、有名な建物の写真や動物の写真、通貨や特産物を実際に見せて頂き、体験した事でより外国に興味を持ち始めていました。

これからのグローバル社会を担っていく子どもたちにとって、世界を知ると言う事は、とても貴重な体験となりました。

今後とも日本の他にも沢山の国があることを知り、言葉や文化の違いについて興味を持てるよう異文化コミュニケーションの機会を設けて行きます。



第二幼稚園

豆まき

1月29日節分に近いこの時期に園児全員で豆まきを行っています。準備していた大豆を鬼めがけて投げます。「自分の心の中にある弱虫や泣き虫などの鬼を追い払うために、豆をなげましょう。」と呼びかけて実施しました。体操の先生が鬼にふんして園庭内を逃げ回ります。子ども達は、近くに行つて豆を投げたいのですが、近くによると鬼が怖い子もいて、個々いろいろな表情を見せてくれました。



イチゴ狩り(年長)



3月6日卒園をまじかに控えた年長組は、むさしの村(埼玉県加須市)にイチゴ狩りに出かけました。

まだ寒い時期で、外は北風が強く、寒さが身に沁みますが、ピニールハウスの中はとても温かく、イチゴのとてもいい匂いがします。大きなイチゴがたわわに実っていました。「さちのか」「やよいひめ」という品種で、一人5〜10個、多い子で20個以上食べた子もいました。

3年間の締めくくりとして思い出に残る遠足となりました。

平成28年春

東京成徳大学応用心理学部

臨床心理学科と大学院が十条台キャンパスでスタート

臨床心理学科は平成28年4月の入学生からスタートし、大学院心理学研究科は完全に東京都北区の十条台キャンパスへの移転を予定しています。

十条台キャンパスの新校舎完成などによるキャンパスの充実によ

り教育研究の推進がより図れるようになったこと、同キャンパスに展開する子ども学部、経営学部と心理学を通じて学問的な相乗効果も期待されています。また、これまでと

違い、臨床心理士資格認定協会の第1種指定校である大学院が学科と同一キャンパスになることにより、大学院によるTAや学生相談などによる学部生への教育指導の充実が期待ができます。

【学びの領域】

導入教育科目

- 大学生としてのスキルを学ぶ科目  
基礎演習 / 情報・メディアリテラシーなど
- 社会人としての基礎を学ぶ科目  
キャリアデザイン / 社会常識など
- 基礎教養科目  
日本文学 / 歴史学入門 / 環境論など

臨床心理学の基礎

- 基礎心理学の科目  
心理学概説 / 発達心理学 / 学習心理学など
- 臨床心理学の基礎科目  
臨床心理学概論 / 臨床心理査定法 / 心理療法概論など
- 心理学の研究・演習  
心理学基礎実験 / 心理学研究法 / 心理データ処理など

臨床心理学の展開

- 心理療法・カウンセリングの展開の科目  
心理療法持論 / ポジティブ心理学 / 発達臨床心理学など
- 学校・子どもの臨床心理学の科目  
学校心理学 / 児童心理学 / 教育心理学など
- 社会・産業・臨床心理学の科目  
社会心理学 / 組織・産業心理学 / コミュニケーションの心理学など

社会調査士資格取得のための科目（予定）

- 社会調査士資格関連の項目（卒業と同時に取得可）  
社会調査入門 / 社会調査実習 / 社会調査質的分析法など

【4年間の学びのステップ】

- |                                       |  |   |   |
|---------------------------------------|--|---|---|
| 1年次<br>教育や臨床心理学の基礎を学び、心を探求する基礎固めをします。 | 2年次<br>臨床心理学や関連する心理学を専門的に学び、人の心を多面的に理解します。 | 3年次<br>演習や実習を通して、臨床心理学的援助を行うための理論とスキルを学びます。 | 4年次<br>これまでに学んだことを活かして、各自のテーマに基づいた卒業研究をします。 |
|---------------------------------------|--|---|---|

平成27年度学園後援会開催

本年度は6月20日中高一貫部に於いて学園後援会の総会が開かれました。佐々木前会長はじめ顧問の方々も出席され盛会でした。藪崎会長の挨拶の後、木内理事長（後援会名誉副会長）は後援会の皆さまのご支援を謝し、7月4日開催予定の十条台キャンパス新校舎落成式はじめ、今年で90年を迎えた学園の最新情報・周年行事、「東京成徳ビジョン100」などを紹介されました。



佐々木顧問の軽妙なお話に皆さん笑みがこぼれる

藪崎会長が議長を務められ議案は滞りなく承認されました。特に27年度予算案では学園創立90周年を記念して繰越金の中から50万円が記念寄付金として予算計上され満場一致で承認され、木内理事長が謝

意を述べられました。

総会後は人文学部国際言語文化学科の周建中教授が「本当の日中関係と中国語の醍醐味」というテーマで講演をされました。



皆さん発音お上手ですね。ではもう一度。

冒頭、すぐ使える中国語の発声練習をして皆をなごませました。日本の最大の貿易相手国は中国。中国での日系企業は2万社を越し、中国との輸出輸入量は日本の国際貿易量の全部の2割を占める。これはEU諸国とアメリカとの合計に等しい。世界人口の2割、14億人が住む中国は巨大なマーケット、お互い大変重要なパートナーであると言説されました。本学科で中国語を学んだ卒業生の活躍も目だってきているとの報告もありました。

会員の近況報告では高齢の方から「長生きして元気で成徳の百周年を祝いたい」との発言もありました。

## 中学校・高等学校・短期大学同窓の皆様へ 記念同窓会のお知らせ

### 東京成徳大学中学校・高等学校 創立 90 周年を祝う会（懇親会）

日 時：平成 27 年 10 月 25 日（日）  
11 時 30 分 受付 12 時 開宴  
会 場：東京椿山荘  
主 催：桐葉会（中学校・高等学校同窓会）  
お申込・問合せ：中高一貫部 望月幹雄  
☎ 03-3911-2786

### 東京成徳大学短期大学 創立 50 周年記念同窓会

日 時：平成 27 年 9 月 12 日（土）  
11 時受付 11 時 30 分 開始  
会 場：十条台キャンパス  
主 催：桐花会（短期大学同窓会）  
お申込・問合せ：桐花会  
☎ 03-3906-7486

学校法人 **東京成徳学園** <http://www.tokyoseitoku.ac.jp>

東京成徳大学大学院 <http://www.tsu.ac.jp/gra> 電話 03-3927-4116

東京成徳大学 <http://www.tsu.ac.jp>  
十条台キャンパス入学課 電話 03-3908-4566（直通）  
八千代キャンパス入試広報課 電話 047-488-1000（直通）

東京成徳短期大学 <http://www.tsu.ac.jp>  
十条台キャンパス入学課 電話 03-3908-4566（直通）

#### 東京成徳大学中学・高等学校

中高一貫部 <http://www.tokyoseitoku.jp/js> 電話 03-3911-2786

高等部 <http://www.tokyoseitoku.jp/hs> 電話 03-3911-5196

#### 東京成徳大学深谷中学・高等学校

中学校 <http://tsfj.jp> 電話 048-573-1784

高等学校 <http://www.tsfh.jp> 電話 048-571-1303

東京成徳短期大学附属幼稚園 <http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind> 電話 03-3911-6337

東京成徳短期大学附属第二幼稚園 <http://www.tokyoseitoku.ac.jp/y-kind> 電話 048-854-2151

東京成徳スイミングスクール 電話 03-3914-2383

学校法人 東京成徳学園 〒114-8526 東京都北区豊島 8-26-9 TEL 03-3911-2411 FAX 03-3911-6500  
法人本部企画調査室 東京成徳広報 第38号 平成27年7月発行